

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

| | |
|----------------------|---|
| ○当事者A | 年齢[43]歳、勤続年数[25]年、現場経験年数[10]年、階級[消防司令補]、同様の活動 []、任務 [車長] |
| ○当事者B | 年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 [] |
| ○当事者C | 年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 [] |
| その他 (当事者が4人以上の場合) | |

11. 事例発生の経過。

| | 誰(何)が | なにをした | その他・備考など |
|------|--------|-------------------------|----------|
| 経過1 | Aが | 救急車の停車位置を指示した。 | |
| 経過2 | B(機械員) | 事故車両の前方約7m地点に停車。 | |
| 経過3 | Aが | B・C(隊員)へストレッチャー及び資器材搬送。 | |
| 経過4 | Aが | 先行し患者に運転席側から接触。 | |
| 経過5 | Aが | Aが道路中央付近へでたところヒヤリハット。 | |
| 経過6 | | | |
| 経過7 | | | |
| 経過8 | | | |
| 経過9 | | | |
| 経過10 | | | |

【その事例発生時の状況について】



- 負傷事故の場合 : 負傷事故が起きたのはどうしてだと思うか？
ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

個人装備が適切だった。たまたま、負傷事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

| | |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | はい |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。 | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。 | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

| | |
|----------------------------------|-----|
| ・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。 | はい |
| ・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。 | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

| | |
|-----------------------------|-----|
| ・ 活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。 | いいえ |
| ・ 活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | いいえ |
| ・ 活動に対する経験が不足していた。 | いいえ |

d. 心身の不調があった

| | |
|------------|-----|
| ・ 体調が悪かった。 | いいえ |
| ・ 悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

| | |
|----------------------|-----|
| ・ 装備・資機材自体に問題があった。 | いいえ |
| ・ 装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | いいえ |
| ・ 装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・ 必要とする装備・資機材がなかった。 | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

| | |
|----------------------------------|-----|
| ・ 障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |
| ・ 特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

| | |
|-------------------|-----|
| ・ 狭隘な場所であった。 | いいえ |
| ・ 暑かった（寒かった）。 | いいえ |
| ・ 野次馬が多かった。 | いいえ |
| ・ 現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

| | |
|-------------------|-----|
| ・ 足元が躓いたり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・ 足元の強度が不足していた。 | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

| | |
|--------------------------------------|-----|
| ・ 活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。） | いいえ |
| ・ 指示内容に誤り・偏りがあった。 | いいえ |
| ・ 指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

| | |
|-----------------|----|
| ・ 隊員の連携が不十分だった。 | はい |
| ・ 隊員が不足していた。 | はい |

○その他

l. その他の理由があった。

| |
|--|
| |
|--|

○ヒヤリハット事例：交通事故現場（高速道路）にてのヒヤリハット
 （同様の体験は、初めて体験した。）

(06H0010)

・発生日時：平成13年11月 午後11時頃

| 経過 | 現場の状況 | 隊員A | 隊員B | 隊員C | 備考 |
|----|--|---|-----|-----|---|
| | | 車長／消防司令補 ・年齢 43 歳 ・勤続 25 年 ・現場 10 年 ・同様の活動：頻繁 | 機関員 | 隊員 | |
| | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 高速道路での交通事故 夜間(午後11時) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 現場への救急出動 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> Aは、Bに救急車の停車位置を指示した。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 事故車両の前方約7m地点に停車。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> B・C(隊員)へストレッチャー及び資器材搬送を指示 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ストレッチャー及び資器材搬送 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 先行し患者に接触を試みる </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 事故車両の大型トラックが左側路側帯いっぱいには停車していた </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 助手席からコンタクトできないため運転席側に回った </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 追い越し車線を通常のスピードで走行していたので、非常に危険であった。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> Aが道路中央付近へでたところヒヤリハット。 </div> | | | | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 二次災害防止のため発煙筒等を使用し安全地帯の設定をしていなかった。 </div> |

◎ヒヤリハットが起きたのはどうしてだと思えるか？また、どうして負傷事故に至らなかったか

- 直接的な原因：行動の意志決定に問題があった。
- ・個人装備が適切だった。
- ・たまたま、負傷事故にならなかった。

◎ヒヤリハットが起きた背後要因

- (心理・体調について)
- ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。
- ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。
- (指揮・管理について)
- ・隊員の連携が不十分だった。
- ・隊員が不足していた。